

令和5年度広島県中山間地域振興協議会（議事概要）

広島県地域政策局
中山間地域振興課

1 日 時

令和6年2月8日（木） 14:00～15:00

2 場 所

メルパルク広島 5階「桜」

3 議 題

- (1) 令和6年度 中山間地域の振興に向けた取組について
- (2) 広島県集落対策に関する検討会議の最終取りまとめ及び今後の集落対策について

4 知事あいさつ（要旨）

昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所から、令和32（2050）年における市町別の将来人口推計が示された。その内容は、本県にとっても極めて厳しい状況にあることを示しているものと受け止めている。一方で、これを現実として直視したうえで、市町の皆様とともに、将来を見据えた対策に積極的に取り組んでいく必要があると認識を新たにしました。

令和6年度においても、皆様とこれまで以上に密接に連携し、中山間地域振興計画に基づく「人づくり」、「仕事づくり」、「生活環境づくり」の取組を、着実に進めて参りたい。

昨年の6月以降、急速な人口減少と高齢化の進む中山間地域において、住民が安心して暮らし続けていくための集落対策について、有識者による検討会議において、議論いただいていた。先日、第5回検討会議が開催され、「最終取りまとめ」の議論が行われた。この会議において、県及び市町はもとより、関係者が一体的に取り組む新たな集落対策の方向性について、大筋了解が得られたところであり、本県として、今後の取組を整理していくこととしている。

なお、「最終取りまとめ」のうち、早期着手が必要な取組項目として示された事項については、来年度から、取組を進めてまいりたい。これらの取組は、先行取組地域を選定した上で進めていきたいと考えており、調整しているのでよろしくお願いいたします。

5 主な意見等

- ・中山間ではそもそもの交通網や交通機関がかなり失われていて、バス、電車或いはその他のデマンドも含めて便数も減っている。どこの市町でも同様だと思うが、運転できる人も減っており、中には共助で助け合いたいと思ってくださる住民もいるが、法的規制もあり現状では難しい。地域の人材をどのように活用する方法があるか、調査研究していただき、一緒になって考えさせてほしい。
- ・行政サービスの維持も含めてデジタル対応は非常に重要で、中山間地域の市町こそ頑張っていかなければならないと思ひ、県の様々な制度を活用してデジタル化に取り組んでいる。町民生活のデジタル活用に力を入れており、地域通貨を発行するとともに、DXを使った定額タ

クシー制度を始めた。令和5年度からDXShip（デジシップ）で町に派遣いただいている専門人材の協力を得て、既存事業をブラッシュアップするとともに、要援護者支援システムのデジタル化に取り組むことができた。大変感謝しており、引き続き対応していきたい。

- ・ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業について、実験的な実証は企業と組んで現在も行っているが、実装となると多くのハードルがある。課題解決に繋げるために、県の支援をお願いしたい。民間との連携も重要だと考える。
- ・ 資料のトピックスで「全国初、県域での鳥獣被害対策に取り組む中間支援組織の設立」について掲載されているが、この中間支援組織がこういった役割を担い、被害の低減に取り組んでいくのかおしえていただきたい。
- ・ 有害鳥獣について、箱わなに補助をしているが、個人で仕掛けるとなると負担が多く、猟友会に管理をしてもらっている。そうすると狩猟期間の兼ね合いもあり、なかなか捕獲頭数が増えず被害が減らない。捕獲頭数を増やすために県での支援や施策を考えていただきたい。
- ・ 集落対策については、中山間地域での生活を維持していく中で、家族や親族の協力や支援について検討会議では取り上げられたか、取り上げられたとしたらどのような議論がなされたのか。
- ・ 集落対策について、広い面積の中に、集落が点々としており、本当に広い面積の中で2世帯や3世帯となっても生活や暮らしをどのように守っていくのかが、大きな課題だと思っている。交通も含め、生活インフラをどこまでやっていくのかという議論は検討会議の中でなされたのか。
- ・ 当市では令和6年度中に中山間地域の中長期的な将来ビジョンの策定を予定しており、県の持つ集落データを活用させていただきたい。また、県は令和8年度にむけて「第Ⅲ期中山間地域振興計画」を策定される予定だと思うが、これと整合性も図っていくため情報共有をお願いしたい。